

みずほマーケット・トピック (2016 年 11 月 18 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向 (関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」, 「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は上昇する展開。週初 14 日、106 円台後半でオープンしたドル/円相場は、本邦 7~9 月期 GDP(1 次速報値)の市場予想を大幅に上回る結果を好感し日経平均株価が上昇する中、107 円台半ばまで急伸。その後もトランプ次期大統領の大型減税やインフラ整備など大胆な景気刺激策への期待が強まる中、米金利上昇も後押しとなり、ドル/円は 108 円台半ばまで上昇した。15 日には、米 10 月小売売上高の良好な結果を受けてドル買いが強まると、ドル/円は 109 円台に乗せた。翌 16 日にかけてもドル買い地合いは継続し、ドル/円は 109 円台後半まで上昇する場面が見られた。しかし、米 10 月生産者物価指数 (PPI) の予想を下回る結果や NY ダウ平均の軟調推移を背景に、17 日東京時間にかけて 108 円台後半まで下落した。その後は、米 10 月住宅着工件数の市場予想を大幅に上回る結果を受けて、ドル/円は 109 円台後半まで上昇。イエレン FRB 議長が議会証言にて、12 月の利上げを示唆したことやトランプ次期大統領と安倍首相の会談への期待感も高まる中で、ドル/円は 110 円台前半まで上昇した。本日にかけてもドル/円の上昇基調は続き、現在は 110 円台半ば付近で底堅い値動きとなっている。
- ・今週のユーロ相場は下落する展開。週初 14 日、1.08 台前半でオープンしたユーロ/ドルは、一時週高値となる 1.0840 をつける場面が見られるも、トランプ次期大統領の経済政策に対する期待感から、米金利が暴騰する中でドル買い地合いは継続し、1.07 台前半まで下落した。15 日は、ドイツやイタリアの長期金利の上昇を背景にユーロ/ドルは 1.08 台前半まで強含むも、その後はドル買い優勢の展開に 1.07 台前半まで押し戻された。16 日にかけてもドル買い地合いが継続する中で新規材料にも乏しく、ユーロ/ドルは 1.06 台後半まで下落した。17 日は、米 10 月住宅着工件数の良好な結果やイエレン議長が議会証言において利上げを示唆したことなどを受けて一段とドル買いが強まると、ユーロ/ドルは 1.06 台前半まで続落。本日にかけてもユーロ/ドルは下落基調が続き、現在は 1.06 を割り込む展開となっている。

今週のおもな金融市場動向 (出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		11/11(Fri)	11/14(Mon)	11/15(Tue)	11/16(Wed)	11/17(Thu)	
ドル/円	東京9:00	106.82	106.88	108.22	109.04	108.78	
	High	106.93	108.54	109.34	109.76	110.18	
	Low	106.03	106.50	107.77	108.80	108.55	
	NY 17:00	106.69	108.44	109.21	109.08	110.11	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0887	1.0823	1.0745	1.0724	1.0706	
	High	1.0923	1.0840	1.0816	1.0760	1.0746	
	Low	1.0831	1.0709	1.0714	1.0667	1.0620	
	NY 17:00	1.0856	1.0737	1.0721	1.0691	1.0621	
ユーロ/円	東京9:00	116.32	115.64	116.30	116.90	116.50	
	High	116.47	116.51	117.22	117.47	117.21	
	Low	115.36	115.56	116.11	116.53	116.27	
	NY 17:00	115.85	116.41	117.08	116.60	117.01	
日経平均株価		17,374.79	17,672.62	17,668.15	17,862.21	17,862.63	
TOPIX		1,378.28	1,400.00	1,402.98	1,421.65	1,423.08	
NYダウ工業株30種平均		18,847.66	18,868.69	18,923.06	18,868.14	18,903.82	
NASDAQ		5,237.11	5,218.40	5,275.62	5,294.58	5,333.97	
日本10年債		-0.02%	-0.01%	0.01%	0.03%	0.01%	
米国10年債		2.15%	2.26%	2.22%	2.22%	2.30%	
原油価格 (WTI)		43.41	43.32	45.81	45.57	45.42	
金 (NY)		1,224.30	1,221.70	1,224.50	1,223.90	1,216.90	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、22 日 (火) に 10 月中古住宅販売件数、23 日 (水) に 10 月耐久財受注 (速報)、10 月新築住宅販売件数、FOMC 議事要旨 (11 月 2～3 日開催分) が発表される。このうち、10 月耐久財受注 (除く輸送用機械) は前月比+0.2%になると市場で予想されている。ドル相場が騰勢を弱めていたことなどを受けて 10 月 ISM 製造業活動指数は 2 か月連続で上昇した。そうした生産活動の拡大が耐久財受注増加の一因になっていると見られている。このほか、前回 FOMC 声明文は 12 月利上げへの地均しとも取れる表現の修正が行われ、市場の年内利上げ織り込みを追認する結果となった。議事要旨では、米大統領選挙 (11 月 8 日) が事前の世論調査や市場予想と異なる結果になったことで、11 月 3 日時点で選挙結果に関して FOMC メンバーから何らかの認識が示されたかどうかが目されよう。政治日程では 21 日 (月) から 23 日 (水) にかけて米中貿易協議が開催される。
- ・ 本邦では、21 日 (月) に 10 月貿易収支、25 日 (金) に 10 月全国消費者物価指数 (CPI) が発表される。このうち 10 月貿易収支は+4700 億円程度の黒字となる見込みである。既に発表されている 10 月上中旬 (1～20 日) の値を見ると、輸出入ともに減少したが、商品価格の低下を背景に輸入額の落ち込みペースが輸出額のそれを上回ったことで 2 か月連続の貿易黒字となっている。輸出は自動車や鉄鋼、通信機器を中心に前年比▲7.6%と 13 か月連続で減少した。また、輸入も燃料や衣類などが減少し、同▲17.1%と 20 か月連続で前年比マイナスとなった。10 月上中旬の貿易黒字は+1622 億円と 9 月上中旬の+2964 億円から 2 か月連続の黒字となっており、市場では 10 月貿易収支は+4010 億円の黒字が予想されている。このほか、10 月全国 CPI は前年比+0.2%と、9 月同▲0.5%から 7 か月ぶりの物価上昇に転じると予測されている。先行指標となる、10 月東京都区部 CPI は、同+0.1%と 9 月 (同▲0.5%) から伸び率がプラスに転じており、10 月全国 CPI も前年比伸び率が拡大する見込みだ。
- ・ 欧州では、23 日 (水) にユーロ圏 11 月製造業・サービス業 PMI、24 日 (木) に独 11 月 IFO 景況感指数、25 日 (金) に英 7～9 月期 GDP (速報) の発表が予定されている。政治日程では、24 日 (木) に第 18 回 EU ウクライナ首脳会議がブリュッセルで開催される。

	本 邦	海 外
11 月 18 日 (金)	-----	・米 10 月景気先行指数 ・ユーロ圏 9 月経常収支
21 日 (月)	・10 月貿易収支	-----
22 日 (火)	-----	・米 10 月中古住宅販売
23 日 (水)	休 場 (勤労感謝の日)	・米 10 月耐久財受注 (速報) ・米 10 月新築住宅販売 ・米 11 月ミシガン大学消費者マインド (確報) ・米 FOMC 議事要旨 (11 月 1～2 日開催分) ・ユーロ圏 11 月製造業 PMI、サービス業 (速報)
24 日 (木)	・9 月景気動向指数 (確報)	・独 7～9 月期 GDP (確報) ・独 11 月 IFO 企業景況指数
25 日 (金)	・11 月東京都区部・10 月全国消費者物価 ・10 月企業向けサービス価格	・米 10 月卸売在庫 (速報)

【当面の主要行事日程 (2016 年 12 月～)】

イタリア、憲法改正の是非を問う国民投票 (12 月 4 日)
 ユーロ圏財務相理事会・EU 経済・財務相理事会 (12 月 5～6 日、ブリュッセル)
 ECB 理事会 (12 月 8 日、2017 年 1 月 19 日、3 月 9 日)
 米 FOMC (12 月 13～14 日、2017 年 1 月 31～2 月 1 日、3 月 14～15 日)
 EU 首脳会議 (12 月 15～16 日、ブリュッセル)
 日銀金融政策決定会合 (12 月 19～20 日、2017 年 1 月 30～31 日、3 月 15～16 日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、确实性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー (2016年11月)

月		火	水	木	金	週末
		1	2	3	4	
		日本 日本 米国 米国 米国	日本 米国	日本 米国 米国 米国 米国 ユーロ圏	米国 米国	
		金融政策決定会合・展望 (基本的見解) 自動車販売台数 (10月) FOMC (~2日) ISM製造業景気指数 (10月) 建設支出 (9月)	マネタリーベース (10月) ADP雇用統計 (10月)	文化の日 労働生産性 (速報、7~9月期) ISM非製造業景気指数 (10月) 製造業新規受注 (9月) 耐久財受注 (速報、9月) 失業率 (9月)	雇用統計 (10月) 貿易収支 (9月)	
7	日本 日本 米国 米国 ユーロ圏 ドイツ	8	9	10	11	
金融政策決定会合議事要旨 (9月20~21日開催分) 毎月勤労統計 (9月) 労働市場情勢指数 (10月) 消費者信用残高 (9月) 財務相会合 (ブリュッセル) 製造業受注 (9月)	日本 米国 ユーロ圏 ドイツ ドイツ	景気動向指数 (速報、9月) 大統領選挙 EU経済・財務相理事会 (ブリュッセル) 鉱工業生産 (9月) 貿易収支 (9月)	日本 日本 日本 日本 米国 米国	金融政策決定会合による主な意見 (10月31~11月1日開催分) 機械受注 (9月) マネーストック (10月) 財政収支 (10月)	第三次産業活動指数 (9月) 国内企業物価 (10月) ミシガン大学消費者マインド (速報、11月)	
14	日本 日本 ユーロ圏	15	16	17	18	
GDP(1次速報、7~9月期) 鉱工業生産 (速報、9月) 鉱工業生産 (速報、9月)	米国 米国 米国 ユーロ圏 ユーロ圏 ドイツ ドイツ	生産者物価 (10月) 鉱工業生産 (10月) TICレポート (対内対外証券投資、9月)	米国 米国 米国 ユーロ圏	住宅着工 (10月) 消費者物価 (10月) フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (11月) 消費者物価 (速報、10月)	米国 ユーロ圏	景気先行指数 (10月) 経常収支 (9月)
21	日本	22	23	24	25	
貿易収支 (10月)	米国	日本 米国 米国 米国 米国 ユーロ圏	日本 ドイツ ドイツ	景気動向指数 (速報、9月) GDP(速報、7~9月期) IFO企業景況指数 (11月)	日本 日本 日本 米国	全国消費者物価 (10月) 東京都都区消費者物価 (11月) 企業向けサービス価格 (10月) 卸売在庫 (速報、10月)
28	29	30				
	日本 日本 日本 米国 米国 米国	日本 日本 米国 米国 米国 ユーロ圏	鉱工業生産 (速報、10月) 新設住宅着工 (10月) ADP雇用統計 (11月) 個人消費・所得 (10月) PCEコアデフレーター (10月) シカゴ購買部協会景気指数 (11月) ペーゲンブック 消費者物価 (速報、11月)			
	労働力調査 (10月) 家計調査 (10月) 商業販売統計 (10月) GDP(2次速報、7~9月期) S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格 (9月) 消費者信頼感指数 (11月)					

[注] *を付したものは公表予定が未定であることを示す。
[資料] ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2016年12月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 法人企業統計 (7～9月期) 日本 自動車販売台数 (11月) 米国 建設支出 (10月) 米国 ISM製造業景気指数 (11月) ユーロ圏 失業率 (10月)	2 日本 マネタリーベース (11月) 米国 雇用統計 (11月)	4 イタリア 憲法改正の是非を問う国民投票
5 米国 労働市場情勢指数 (11月) 米国 ISM非製造業景気指数 (11月) ユーロ圏 財務相会合 (ブリュッセル)	6 日本 毎月勤労統計 (10月) 米国 貿易収支 (10月) 米国 製造業新規受注 (10月) 米国 耐久財受注 (確報、10月) 米国 労働生産性 (確報、7～9月期) ユーロ圏 EU・経済財務相理事会 (ブリュッセル) ユーロ圏 GDP(確報、7～9月期) ドイツ 製造業受注 (10月)	7 日本 景気動向指数 (速報、10月) 米国 消費者信用残高 (10月) ドイツ 鉱工業生産 (10月)	8 日本 国際収支 (10月) 日本 GDP(確報、7～9月期) 日本 貸出・預金動向 (11月) 日本 景気ウォッチャー調査 (11月) 日本 *企業倒産件数 (11月) ユーロ圏 ECB理事会 (フランクフルト)	9 日本 法人企業景気予測調査 (10～12月期) 日本 マネーストック (11月) 米国 卸売売上高 (10月) 米国 卸売在庫 (確報、10月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (速報、12月) ドイツ 貿易収支 (10月) ドイツ 経常収支 (10月)	
12 日本 機械受注 (10月) 日本 国内企業物価 (11月) 日本 第三次産業活動指数 (10月) 米国 財政収支 (11月)	13 米国 FOMC(～14日) ドイツ ZEW景況調査 (12月)	14 日本 日銀短観 (11月調査) 日本 鉱工業生産 (確報、10月) 日本 小売売上高 (11月) 米国 生産者物価 (11月) 米国 鉱工業生産 (速報、11月) 米国 企業在庫 (10月) ユーロ圏 鉱工業生産 (10月)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数 (12月) 米国 消費者物価 (11月) 米国 経常収支 (7～9月期) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数 (12月) 米国 米TIC(対内対外証券投資、10月) ユーロ圏 EU首脳会議 (～16日、ブリュッセル) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(速報、12月)	16 米国 住宅着工 (11月) 米国 中古住宅販売 (11月) ユーロ圏 貿易収支 (10月) ユーロ圏 消費者物価 (確報、11月)	
19 日本 日銀金融政策決定会合 (～20日) 日本 貿易収支 (11月) ドイツ IFO企業景況指数 (12月)	20 ユーロ圏 経常収支 (10月)	21 米国 中古住宅販売 (11月)	22 米国 GDP(3次速報、7～9月期) 米国 耐久財受注 (速報、11月) 米国 個人所得・消費 (11月) 米国 PCEコアデフレーター (11月) 米国 景気先行指数 (11月)	23 日本 天皇誕生日 米国 新築住宅販売 (11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド (確報、12月)	
26 日本 日銀金融政策決定会合議事要旨 (10月31～11月1日開催分) 日本 企業向けサービス価格 (11月) 日本 景気動向指数 (確報、10月)	27 日本 労働力調査 (11月) 日本 家計調査 (11月) 日本 全国消費者物価 (11月) 日本 東京都区部消費者物価 (12月) 日本 住宅着工 (11月) 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格 (10月) 米国 消費者信頼感指数 (12月)	28 日本 鉱工業生産 (速報、11月) 日本 商業販売統計 (11月)	29 日本 金融政策決定会合による主な意見 (12月19～20日開催分) 米国 卸売在庫 (速報、11月)	30 米国 シカゴ購買部協会景気指数 (12月)	

[注] *を付したものは公表予定が未定であることを示す。
[資料] ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2016年11月17日	イタリア国民投票に関するQ&A
2016年11月16日	円の基礎的需給環境の現状と展望
2016年11月15日	トランプノミクスを巡る2つのシナリオ
2016年11月14日	トランプノミクス相場に関するQ&A
2016年11月11日	週末版(トランプ次期大統領のポリシーミックス～随所に見られる矛盾をどう捉えるか～)
2016年11月10日	トランプ大統領誕生と為替相場見通しへの影響
2016年11月8日	実質ドル/円相場の現状～「超異常」から「異常」そして「正常」へ～
2016年11月7日	米10月雇用統計を受けて～「最後の灯火」の可能性も念頭に～
2016年11月4日	週末版(FOMCを終えて～焦点は3回目、4回目の利上げに～)
2016年11月2日	日銀金融政策決定会合を終えて～無味無臭の政策運営へ～
2016年10月28日	週末版
2016年10月27日	ドル高相場の調整が進まない背景～実効相場の観点から～
2016年10月26日	円高シナリオにまつわるリスクの整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年9月分)
2016年10月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～もう表舞台に立ちたくない～
2016年10月24日	ECB理事会を終えて～ECB版総括的検証の行方～
2016年10月21日	週末版
2016年10月20日	最近の対内・対外証券投資動向と為替について
2016年10月19日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～②
2016年10月18日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～
2016年10月17日	米為替政策報告書を受けて～ドル高忌避変わらず～
2016年10月14日	週末版
2016年10月7日	週末版
2016年10月5日	ECBのテーバリング観測～予想すべきは真逆の方向～
2016年10月4日	世界にとってのテールリスクとなる「欧州の濫竽主義」
2016年10月3日	外貨準備構成通貨の現状(2016年6月末時点)
2016年9月30日	週末版
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年8月分)
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版(日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見通し～)
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量との決別、金利への転進」～
2016年9月13日	ブレイナード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版(ECB理事会を終えて～注目はパラメーター修正の「次の論点」へ～)
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年7月分)
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最近のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨(7月20～21日開催分)
2016年8月19日	週末版(円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～)
2016年8月18日	FOMC議事要旨(7月26～27日開催分)～自信喪失?～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクシナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6月期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～「国際金融のトリレンマ」に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半年期～
2016年8月5日	週末版(総括的検証で問われるべきは「戦略」ではなく「戦術」の妥当性～「失敗の本質」は何か～)
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～
2016年8月1日	日銀金融政策決定会合を終えて(7月28～29日開催分)
2016年7月29日	週末版
2016年7月28日	FOMCを終えて(7月26～27日開催分)
2016年7月26日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年6月分)
2016年7月22日	週末版(ECB理事会を終えて～「嵐」の前の静けさ～)
2016年7月21日	日銀金融政策決定会合プレビュー(7月28～29日開催分)
2016年7月20日	明らかに開始したBrexitの下押し圧力について
2016年7月19日	「空気を読まない」EU政策当局への危機感
2016年7月15日	週末版(ECB理事会プレビュー～現状維持も「次の一手」は近い～)
2016年7月14日	危う過ぎるヘリマネ議論～円の信託を「叩き壊す」政策～
2016年7月13日	ドル/円相場、急騰の解釈～「木」ではなく「森」を見るべき～
2016年7月11日	米6月雇用統計～いよいよ諦観が漂い始めた米利上げ～
2016年7月8日	週末版(円相場の基礎的需給環境について～頭打ちの経常黒字～)
2016年7月7日	FOMC議事要旨～崩れ始めるファイティングポーズ～
2016年7月4日	経験則に学ぶドル/円相場の「波」～簡単には終わらず～
2016年7月1日	週末版(BrexitにEUの責任はないのか?～ユーロ圏を「監獄」にしないために～)
2016年6月27日	Brexit後のリスク要因再点検～トランプリスクとFRB緩和リスク～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年5月分)
2016年6月24日	週末版
2016年6月23日	TLTRO II プレビュー～6月23日、もう1つの論点～
2016年6月21日	英国のEU離脱(Brexit)とユーロ相場見通し
2016年6月20日	英議員殺害で思い返されるアンナ・リンド事件
2016年6月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～「No」と言う勇気と奇襲の「ツケ」～)
2016年6月16日	FOMCを終えて～「利上げの有無」を超えて～
2016年6月15日	英国のEU離脱(Brexit)を巡るQ&A
2016年6月14日	ドル/円相場、水準感の整理～攻守交代の時～
2016年6月10日	週末版(7月以降、ECBは現状維持を貫けるか～戻らないHICPIに苦しめられる公算～)
2016年6月9日	日銀金融政策決定会合プレビュー
2016年6月8日	円相場の基礎的需給環境について
2016年6月7日	イエレンFRB議長講演と米雇用情勢について
2016年6月6日	米5月雇用統計～もはや正常化以前の問題か～
2016年6月3日	週末版(ECB理事会を終えて～2周年を迎えたマイナス金利～)